

3月23日(月)

## 神 に あ る 希 望

聖書朗読 詩篇 11

あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

コロサイ 3:2

2020年3月23日～29日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

私は困難な状況あるいは厄介な人に遭遇するたびに、ネガティブな思いに捉われ、夜中には心配で目が覚め眠れなくなります。それまでに起きたあらゆる出来事を振り返り、今後状況がさらに悪化し、自分がさらに傷つけられるのではないかという不安に駆られ、そこから逃げ出したいくなります。

詩篇11章には、私の様な性質とは異なる前向きなダビデの姿勢が記されています。ダビデは、あらゆる事態が望ましくない方向へと向かい、身を隠してしまおうかと考えます。けれども彼はこう問います。「抛り所が壊されたら正しい者に何ができようか。」と。

自分の知るあらゆるものが変わり果て、すべてが奪い去られてしまったとき、私たちに出来る事は何でしょう。

この時ダビデは、状況打開のための計画をあれこれ考えることはせず、すべてをご存知で正しい事を成して下さるお方である神様に希望を見出そうとしました。具体的な答えは見えなくとも、ただ神様にのみ目を向けたのでした。私たちも自分で相手に復讐を試みたり、苦しい状況から逃げたりするべきではありません。ただ、避け所なる神様を求め、見上げ、そして神様を知りましょう。神様は私たちを見守り私たちが知っておられ、私たちの心、不安、すべてをご存知なのです。

私達の希望は神様にあります。私たち自身の能力にはありません。神様は私たちを見守ってくださり愛しておられます。私たちの目を、抱える問題にではなく神様に向けましょう。神様のことを思いめぐらし、祈り、神様の聖なることをいつも覚えているようにしましょう。いつの日か主にお会いできる日を胸に抱きつつ、神様に信頼していきましょう。

讚美歌 286

祈り お父様。私たちの岩であり癒し主であられるあなた様を称えます。私たちが試練に遭うとき、その試練によって、あなた様だけに避け所を見出すことが出来るよう私たちの背中を押して下さることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ケリー・アイフィー  
テキサス州 ラボック

3月24日(火)

## シンプルな生き方

聖書朗読 詩篇 23:1~6

狐には穴があり、空の鳥には巢があるが、人の子には枕する所ありません。

マタイ 8:20

経済は低迷し物価は上昇。私たちは一体どうしたらよいでしょう。答えはシンプルに生きることです。人生は本来シンプルなものであり、私たちの必要とするものはいたってシンプルなものはずです。けれども、私たちの強欲、プライド、エゴといった性質が人生を複雑にしているのです。様々な科学技術が進歩したこの21世紀ですが、私たちの生活はむしろ更に生き辛いものとなってはいないでしょうか。

この事について、私たちは歴史上の偉人と言われる人々から学ぶ点があります。アルベルト・アインシュタインはこう言っています。「財産、成功、世間の注目、贅沢などは、私にはどうしても卑しいものとしかうつらない。シンプルで控えめな生き方こそが、あらゆる人にとって、身体的にも精神的にも最善であると確信する。」また、ソクラテスは、「私が長く生きて学んだこと。それは、本来無くても良い物がどれ程多くあったかということ。最も少なく求める人こそ、神に最も近い者だ。」という言葉を残しています。

これは私たちの主、イエス様の生き方と一致するものではないでしょうか。イエス様はごくシンプルな歩みをされました。飼い葉桶の中でお生まれになり、地方で成長され、仕事は大工でした。各地で説教をなさるようになると、お休みになる場所さえ持っておられませんでした。シンプルでありつつ責任ある生き方を学び、私たちの目指す愛の歩みをして行きましょう。

讃美歌 340

祈り 親愛なるお父様、私たちが愛し心に掛けて下さること、そして、私たちを救い導かれる主である救い主イエス・キリストを、この世にお遣わしくくださったことを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

S・ビル・ジメネズ  
カリフォルニア州 サンフランシスコ

3月25日(水)

## 緑の牧場へ

聖書朗読 詩篇 23

信仰とは望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

私は、代数の授業で、打ちのめされ挫折し、憤りを覚え、全く途方に暮れていたものです。神様は、私のために備えておられた新しい道に私の心が向くよう働いて下さっていたのですが、その時はその事に気が付きませんでした。私はただ挫折を覚え、暗い谷底の様なその授業から逃れたいとひたすら願いました。結局、数学を使う仕事に就くことはありませんでした。神様は私にイベントプランナーの道を備えて下さっていました。ファイナンシャルプランナーではなかったのです。

私たちは、学ぶ事も収穫も何も無いと思われる人生のどん底にあるとき、ただそこから逃れたいと願うものです。当時、数学は私にとって敵であり苦しみ種の種でした。けれども、その時は分からなかったのですが、神様はこうした試練を通して私を生ける水へと導き、魂を生き返らせ、癒し、そして、直面する敵に打ち勝つようにして下さい、こうした試練の内に人生の大切な教訓があることを、私に学ばせようとしておられたのです。神様は、私を、暗やみを通して静かな水辺に辿り着かせてくださいました。これまでの人生を振り返ると、人生の谷底にこそ新たな始まりがあったことが分かります。

羊飼いである神様は、私たちが、苦しみに遭うときにも神様のご計画が続いている事を覚え、神様の平安の内に憩うことを切に願っておられます。今度人生の荒波がやって来たら、神様はご自身の定められた時に、私たちを緑の牧場に導いてくださるという事を思い出してください。

讃美歌 291

祈り 主よ、あなた様が私たちに、この世と永遠において私たちの住まいを設けて下さり感謝します。あなた様の聖なるご性質、目的、そして平安に私たちの目を開いてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アリソン・シェリル  
テキサス州 ラボック

3月26日(木)

## 希望は主に

聖書朗読 詩篇 25:1~12

この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私達に与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。 ローマ 5:5

私は雪がまず降ることのないテキサス州の西部で育ちました。気象予報士は、学校に通う子供たちに向けてよくこんな事を言ったものです。「ひょっとしたらけど、雪が降って、学校が休校になって、家で休めるかもしれないよ。」それを聞いて、私たち子どもは雪が舞い降りることを期待して床に就いたのですが、目が覚めてみると、結局いつもと変わらない一日が始まるのでした。気象予報士の言う事は信用出来ませんでした。けれども、神様は信頼できるお方です。神様は天気も私たちの心も治めておられます。神様の約束してくださった希望は、確信をもって依り頼むことの出来る希望です。

ダビデは詩篇25篇で、神様の教えと、神様にある決して変わる事のない希望について語っています。神様の教えと永遠の希望は、決して私達を失望させることなく、ご聖霊を通して今でも私達を受け取らせていただけるものです。ご聖霊によって、神様はご自身のみことばを私達に示され、日々の歩みを通して私達たちが希望をさらに強く持てるよう導いてくださいます。

神様に希望を置く事は大切なことです。神様にある希望は、「ひょっとしたら実現するかもしれない」希望などではなく、今もそして永遠に信頼できる希望なのです。

讃美歌 280

祈り 親愛なる主よ。私達を教え導くために、あなた様が私達に与えてくださったご聖霊を感謝します。私たちの知恵を増し、希望を大きく持たせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アミー・ピーターソン  
テキサス州 ラウンドロック

3月27日(金)

## 恐れるな

聖書朗読 詩篇 25:12~22

そのあわれみは、主を恐れかしこむ者に、世々にわたって及びます。

ルカ 1:50

かつて鉄道員だった私の祖父は知恵ある事を沢山教えてくれたのですが、その中で私が最もよく覚えているのは、恐れについてです。恐れを抱くとは、問題に対処する時に必要な注意を払うという事だと祖父は教えてくれました。祖父は、「怖がってはだめだよ。恐がったら何事もうまく出来なくなるから。」と言ったものです。

祖父はシンプルな教えの中で、恐がらずに神様を畏れるということを私に教えてくれました。詩篇25:14には、「主はご自身を畏れる者と親しくされ、ご自身のご契約を彼らにお知らせになる。」とあります。神様のご契約は平安をもたらすものであり、御子なるイエス・キリストの血によって与えられるものです。私達たちはキリストの犠牲を覚えるとき、神様を畏れ、褒め称え、神様を尊ぶ思いを抱くようになります。

もくもくと煙を上げて猛烈なスピードで鉄道を動かすエンジンのように、主は力強く、全知全能のお方です。けれども、だからと言って私達たちが恐れる必要はありません。神様は決して私達を傷つけることはなさらず、愛し、贖ってくださるのです。神様の供えられたご計画は確実に私達にとって良いものです。主をかしこみ畏れても、恐れることはないのです

神が人の形を取ってくださった。それは恐れ of 終わりである

問題のただ中に主がおられることに気づき

主が愛をもってご臨在なさっていることに心を留めるとき

恐怖のただ中に静寂が現れる

-F. B. マイヤ-

讃美歌 77

祈り 親愛なる主よ。あなた様がいかに偉大なお方であるか、そしてあなた様を畏れる時いかに満たされるかということを心に覚えさせてください。あなた様の慈しみのうちに、あなた様をいかに畏れるべきかをお示しください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アミー・ピーターソン  
テキサス州 ラウンドロック

3月28日(土)

## 向日葵

聖書朗読 詩篇 33

全地よ。主を恐れよ。世界に住む者よ。みな、主の前におののけ。

詩篇 33 : 8

向日葵。一本の茎に一輪だけ花を咲かせる花ですが、なんと見事なものかと驚かされます。神様の驚くべき御業は、最高のものをもたらしてくださいませ。

私たちは3週間旅行に出かけていたのですが、家に帰って鉢植えの向日葵を見ると、輝くような黄色の花びらはまだ閉じられたままでした。喜びを分かち合うために、私が帰るのを待っていてくれたのかもしれませんが。背丈が15フィート(約4m 50cm)にもなる向日葵がフィールドいっぱい咲いているのを見たことがあります。それらは、商業目的の収穫用のものでしたが、まとまって咲いている向日葵もとても見事なものでした。けれども、私の植木鉢に咲いた一輪の向日葵の与える衝撃的な印象にはかきません。

私は一輪の向日葵の美しさに驚き感動します。

私たちは日々、何かしら新しいものを発見し、神様からの予期しない贈り物を与えられています。

神様の子どもとして、毅然とした姿勢で物事を耐え忍び、様々な美しいものをお与えくださるお父様に感謝しましょう。

美しく輝くすべてのもの  
偉大なものも小さなものも、すべて造られたもの  
知恵ある驚くべきすべてのもの  
これらすべては主なる神によって造られた  
- C.F. アレクサンダー

讚美歌 II 161

祈り 驚くべきお方である神様、私たちが目を掛けて楽しむことの出来る、様々な美しいものを造ってくださり感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・ゴメス  
テキサス州 ベッドフォード

3月29日(日)

## 絶望の淵にある渴望

聖書朗読 詩篇 42

わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。…神を待ち望め。

詩篇 42 : 5

干ばつの時あるいは砂漠では、人でも動物でも、まず探し求めるものは水でしょう。宣教師たちは霊の水を、渴望する人々に与えるべく、生ける水の井戸を備える事をその働きとしています。

詩篇42篇には、鹿が命を生きながらえさせる水を慕いあえぐ様子が描かれています。ここには絶望という言葉は、はっきりとは記されていませんが、I列王19章にもあるように、ここからは明らかに絶望した状況を読み取ることが出来ます。希望も見えない絶望を次々と経験したこの詩篇の著者は、神様を切に慕い求め、砂漠の様に渇き失意のうちにある自らの魂の神様への飢え渇きを言い表しています。彼は神様と繋がっていたいと願うのですが、その歩みは暗く雲に覆われ、半ば自暴自棄となりこう問います。いったいいつになったらこの状況は終わるのか。神はどこにおられるのか。なぜこんなにも自分はうなだれているのか。さらに、落胆した現実を語っています。周囲の人々による誤解、涙、不眠、過去に受けた非難、神様に忘れ去れてしまったという思い、そして霊的な落ち込みと疑いです。

けれども7節はこの著者の思いが変えられる転換点となっています。失望は深く、大きな荒波は依然としてあるにも関わらず、彼が神様のご性質とご契約に思いを向けた時、神様は彼の居るその深みまで降りて来られ、暗闇から光へ、溺れそうな淵から心の平静へとお導きくださったのです。

神様は私たちの下に降りて来られることを望んでおられ、ご自身がどのようなお方で何を備えてくださるお方なのか、私たちが気付くことを切に願っておられます(1-3節)。うなだれる時、神様を見上げましょう。

讚美歌 322

祈り 主よ、絶望の淵に落ちてしまったとき、私を救い上げ、堅固な土台の上に立たせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・ゴメス  
テキサス州 ベッドフォード